

## 楽しく乗って利用しよう!! えちぜん鉄道



にぎやかな雰囲気の中

10月14日、勝山地区区長会が、えちぜん鉄道利用促進活動の一つとして、「酔い酔い電車」と銘打ち、電車の中をビアガーデン風に模様替えし、勝山-福井間を往復する催しが行われました。

各地区から2名の総勢46名に、山岸市長も同席し、電車内での宴席を楽しみました。電車の揺れも心地よく、いつもとは違った空間での宴席に、電車の中は終始賑やかな雰囲気、まちづくりの話なども飛び交うなど、お互いの交流がより一層深まり、会話もお酒も弾みました。

えちぜん鉄道勝山-福井間が開通して2年が経過しますが、これからも一人一人が電車利用促進の意識を持って、えちぜん鉄道が私たち市民の足となるように努めなければと、改めて実感したひとときでした。

## 動物たちのエサ場を増やそう! 「緑の少年団」が ドングリの苗木を植樹

実のなる木を植え、将来は野生動物たちの餌場にすることを目的に、市と緑化推進委員会では、「交流の森づくり」事業を企画し、10月22日、標高800メートル付近の法恩寺線林道沿い(平泉寺町平泉寺)の市有林にドングリの苗木200本を植えました。

この日は、市内小学校の「緑の少年団」31人が植樹に参加。児童らは、山の自然を愛する会と、苗木10本を寄贈されたドラゴンリバー交流会のメンバーらの協力のもと、コナラやシラカシの苗木を1本1本ていねいに植えていきました。

この企画は、昨年のクマの異常出没で被害が増大したことを受け、野生動物との共存を目的に今後約10年をかけて毎年20アールずつの植樹を計画しています。



「早く大きくなあれ!」と、願いを込めてドングリの苗木を植樹する児童ら

## アメリカ人教育関係者20人が 勝山市で教育研修

第2次世界大戦終了後間もない頃に、アメリカと諸外国との相互理解を目的とした人物交流計画「フルブライトプログラム」が発足し、この半世紀の間に世界中で約25万人の人々が交流し、約140ヶ国が参加しています。

日本では、1952年以来、約6800人の日本人がフルブライト計画による米国留学を体験しており、そのお礼として1997年に日米教育委員会日本フルブライトメモリアル基金が設立され、日本政府の拠出金により運営されています。

今回、勝山市のほかに全国9市が、アメリカ人教育関係者を受け入れており、勝山には20人が10月17日から9日間滞在し、教育関係者の意見交換のほかに、小・中学校や高等学校の視察、座禅の体験、ホームステイなどにより、交流を深めました。



越前大仏清大寺での座禅体験で神経を集中する視察団



成器西小学校の授業風景を見学する視察団

## 【市長への手紙集計報告】 市民と共に考える勝山市の将来

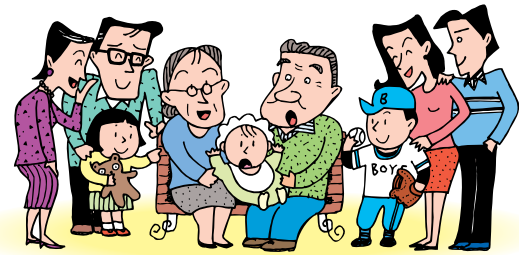
市では、毎年9月を市民提案月間として、市民のみならずから広く市政に関するご意見をお寄せいただいています。

今年、「行財政改革について」と「これからの勝山について」をテーマに募集し、多くの市民のかたがたから、いろいろご意見を寄せていただき、10月末までに、58通の手紙がありました。「行財政改革について」は、前倒しの改革断行や抜本的改革、市職員や議員定数の見直しなどの意見がありました。

「これからの勝山」については、高齢社会における老人の位置づけや、市民と行政の協働のあり方として市民の資質を高めることの必要性を訴えるかたもいました。

このほかには、児童センターや市立図書館の開館時間、ニューホテルの今後の運営、テニスコートの利用料金など施設の運営に対する要望がありました。また、建設方面では、除雪や融雪、歩道の段差解消に関する要望がありました。

さらに、ゴミ問題やアスベスト対策など環境に関する意見、食育や学校統廃合などの教育に関する意見、三室山



や旧成器堂などの文化財保護に対する意見など、いろいろな観点から意見を出していただきました。「市長への手紙」は、秘書・広報課が窓口となって受け付けをし、市長の閲覧の後、市長からの指示にもとづき、担当課で検討をします。担当課は、検討結果について市長に報告します。場合によっては市長との協議を要することもあります。最終的に、市長の承諾を得たものについては、匿名者を除き、回答を本人宛に郵送をさせていただきます。市民のみならずからいただいたご意見やご提案は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

## 勝山市地域福祉計画策定関連事業 地域福祉を考える集い

高齢者、障害者、子どもを中心として取り巻く地域の福祉課題を再確認し、支援活動やボランティア活動など、私たちの地域にふさわしい福祉社会をどのように進めていったらよいかをみなさんといっしょに考えましょう。

とき 11月19日(土) 午後1時~4時  
ところ 勝山市福祉健康センター「すこやか」

### 内容

- 作文表彰・発表
  - ・福祉体験作文の表彰(小学生の部、中学生の部)
  - ・入賞作品の朗読
- 地区別ワークショップ概要報告
- 活動事例発表
  - ・住民主体の福祉活動……………長山町
  - ・垣根のないサロン活動(年齢・障害)……………猪野瀬地区社協
  - ・NPO福祉団体…NPO法人 福祉ワーキンググループ大野
  - ・災害時の要援護者の支援組織活動…福井市みのり地区社協
- パネルディスカッション
  - ・山岸正裕 勝山市長
  - ・パネラー(上記活動事例発表者)
  - ・コーディネーター 県立大学 瓦井昇 助教授
- 問 勝山市健康福祉部 福祉・児童課、健康長寿課  
☎0779-88-1111(内線121番)

## 人権週間 12月4日(日)~10日(土)

「育てよう 一人一人の 人権意識  
—思いやりの心・かけがえのない命を大切に—」

福井地方法務局大野支局および大野人権擁護委員協議会では、家庭内や近隣のもめごと、不当な差別扱いや嫌がらせ・いじめなど、人権にかかわるさまざまな相談に応じています。お近くの人権擁護委員または法務局にお気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は厳守されます。

### 【勝山地区人権擁護委員】 (敬称略)

- ◎増田公輔 = 野向町(87-0283)
- ◎池田節子 = 遅羽町(87-1978)
- ◎北川博正 = 旭町1(88-3589)
- ◎森石敏枝 = 荒土町堀名中清水(89-1569)
- ◎久保純児 = 本町4(88-2628)

### 定例相談日

とき 毎月第1・3水曜日 午前9時~午後1時  
ところ 教育会館

### ◎特設人権悩みごと相談所開設

とき 12月7日(水) 午前9時~午後1時  
ところ 教育会館

問 福井地方法務局大野支局 (☎66-2249)